

3. 測定項目・時期 <29年度以降> (表2)

測定項目	測定時期				測定又は 計算羽数
	コマーシャル (肉用タイプ)	コマーシャル(卵用及 び卵肉兼用タイプ)	雄系種鶏 (肉用タイプ)	雌系種鶏 (肉用タイプ)	
体 重	4・8週齢	4・8週齢	4・8週齢	4・8週齢	10%抽出
	12・18週齢	12週齢	12・18週齢	12・18週齢	全 数
	—	—	22週齢	22週齢	10%抽出
	—	40・64週齢	—	40週齢	60%抽出
飼料要求率	0～18週齢	—	—	—	全 数
週齢毎飼料給餌量	—	—	0～22週齢	0～40週齢	全 数
羽 色	0週齢	0週齢	0週齢	0週齢	20%抽出
	18週齢	12週齢	18週齢	18週齢	全 数
外貌の特徴	18週齢	12週齢	18週齢	18週齢	全 数
育 成 率	18週齢	22週齢	22週齢	22週齢	全 数
生 存 率	—	64週齢	—	40週齢	全 数
へい死・淘汰理由	18週齢	64週齢	22週齢	40週齢	全 数
50%産卵日齢	—	50%産卵日齢時	—	50%産卵日齢時	全 数
週齢毎産卵率	—	初産～64週齢	—	初産～40週齢	全 数
ピーク産卵率	—	初産～64週齢	—	初産～40週齢	全 数
期間産卵率	—	24～64週齢	—	31～40週齢	全 数
卵 重	—	35・64週齢	—	35週齢	全 数
卵殻強度	—	35・64週齢	—	35週齢	全 数
卵 殻 色	—	35・64週齢	—	—	全 数

注1) コマーシャル検定(肉用タイプ)について、12週齢以前の体重測定の結果が平均3kg以上となった場合は、12週齢時に全個体についての体重、飼料要求率、羽色、外貌の特徴、育成率及びへい死・淘汰理由のデータを収集し、検定を終了できるものとした。

注2) 雄系種鶏検定(肉用タイプ)について、18週齢以前の体重測定の結果が平均3kg以上となった場合は、18週齢時に全個体についての週齢毎飼料給餌量、育成率及びへい死・淘汰理由のデータを収集し、検定を終了できるものとした。

注3) コマーシャル検定(卵用及び卵肉兼用タイプ)について、産卵への影響も考慮して、12週齢のみ全数体測とし、その際、羽色及び外貌の特徴を確認することとした。

4. 検定場所・飼養管理条件

(1) 検定場所：(独)家畜改良センター岡崎牧場(以下：岡崎牧場)

(2) 鶏舎構造：

<0～97日齢>：セミウインドレス・ケージ鶏舎(99cm×55.3cm=5,474.7cm<sup>2</sup>/室：群飼(10羽))

<98日齢以降>：セミウインドレス・ケージ鶏舎(24.1cm×39.5cm=952cm<sup>2</sup>/室：単飼)

(3) 給与飼料：0～3週齢＝幼すう用配合飼料(ME2,900～2,980kcal/kg, CP20～22%)

4～7週齢＝中すう用配合飼料(ME2,800～2,850kcal/kg, CP17～18%)

8～14週齢＝大すう用配合飼料(ME2,750～2,800kcal/kg, CP14～15%)

15週齢以降＝成鶏用配合飼料(ME2,830kcal/kg, CP17%)

(4) 点灯管理：0～13日齢＝24～20時間点灯(15Lux)

14～27日齢＝18～16時間点灯(10～5Lux)

28～41日齢＝14～12時間点灯(3Lux)

42～111日齢＝10時間点灯(3Lux)

112～216日齢＝10時間30分～13時間30分点灯(10Lux)

217日齢以降＝14時間点灯(10Lux)